

栗 庵
御返報

長 參河守

(上卷)

栗 庵

連 理

御返報

十二月廿三日

英 教 在判

【永光寺文書】

二二六五

就端郡七十五村三分一御免除之儀、尊札畏入存候。然者當御寺領之儀へ不准他候間、可有御捨免之由、最前各奉書之旨候。更無別儀事候。猶期後音之時候。恐々謹言。

九月十八日

連 理 在判
(長三河守)
(井上下野守)
英 教 在判

永光寺殿

尊 答

【栗棘庵文書】

二二六六

爲春秋御祝儀、御卷數・杉原・扇子・御茶甘袋、并御元服祝

儀、何茂令披露候。則被成直書候。委細自温井備中守方

可被申候。猶相意得可申入旨候。就中拙夫(景隆)紅帶一屯贈

給候。目出祝着至候。雖些少候、爲佳例五十疋進入候。

具御使者可有演說候条、不能詳候。恐々謹言。

栗 庵

侍者御中

井上下野守

(上卷)

栗 庵

英 教

侍者御中

【栗棘庵文書】

二二六七

追而令申候。前々杉原十帖・五明二候。當年之義替申候間、自來年可被成其意候。御使へ具申入候。

爲改年之御祝儀、尊書并五明二本令披露候。被成御返

狀候趣、相意得可申旨候。仍我等へ貳本被懸御意候。御

懇意過分此事候。隨而乍輕少、鳥目貳十疋進獻申候。目出

度表祝儀斗候。猶重而可得貴意候。恐惶謹言。

十二月廿八日

英 安 在判

栗 棘 庵

侍者御中尊答

井上美濃守

(上卷)

栗 棘 庵

英 安

侍者御中尊答

二二六八

【氣多神社文書】 羽咋郡

(島山義綱) 御屋形様爲御音信、飛脚被差越候。然者拙者に青銅十疋送被相越候。本望此事候。猶期後信之時候。恐々謹言。

十月十九日

網 盛 在判
(佐脇美濃守)

一宮惣中 御返報

(この文書は、年不詳十月十九日附島山義綱の書狀の添狀なり。綱盛は、永祿六年五月廿一日の條に見えたる佐脇四郎左衛門尉長隆の後の名なるべく、永祿八年三月十一日にも見えたり。)

【本誓寺文書】 鳳至郡

二二六九

(島山義綱) 袖 判

就馳走可申上、徳政之儀、其郡被仰出者也。仍而執達如

件。

七月一日

佐脇美濃守

網 隆 在判

飯川若狹守

光 誠 在判

鳳至郡

本 泉 寺

【栗棘庵文書】 山城

二二七〇

就被差御使候、尊書殊御茶五袋被懸御意候。本望至極候。仍御院領儀、聊不存疎意候。隨而雖輕微至候、青銅五十疋令進覽之候。誠表輕志斗候。猶重而可申述候